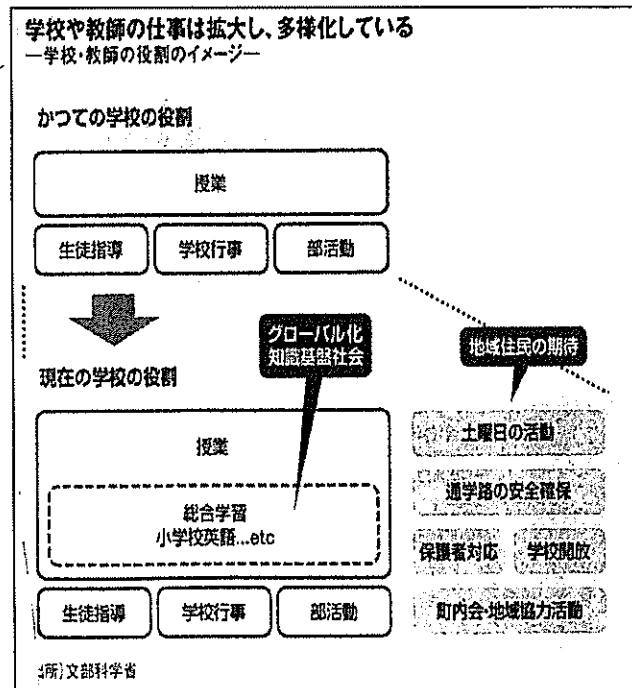
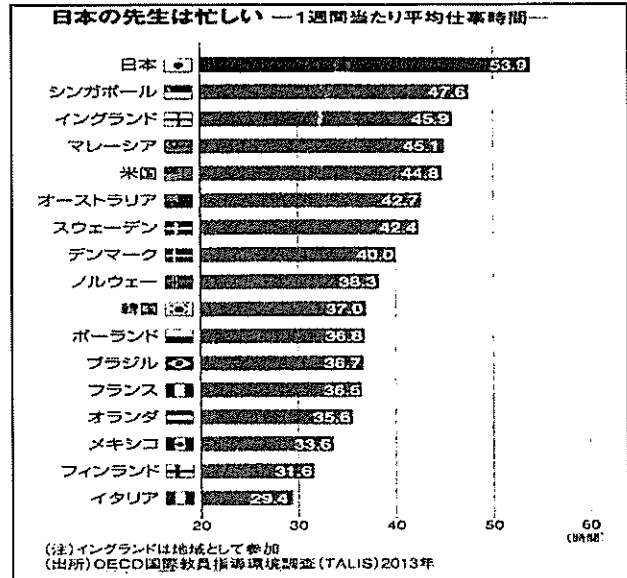
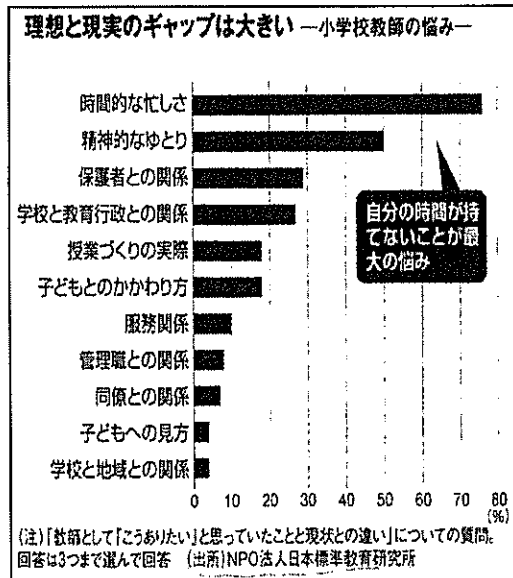


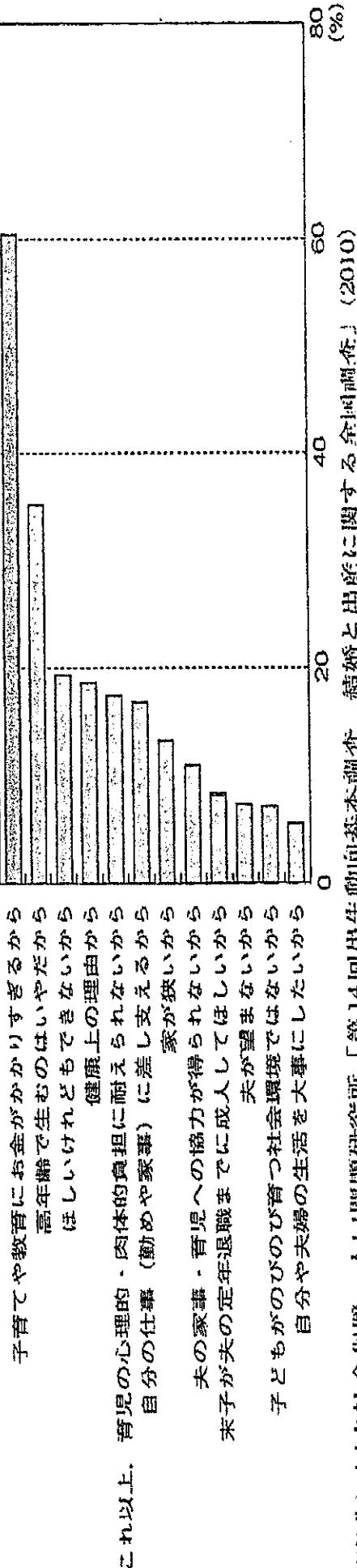
先生たちの基本データ



別紙3：公財政教育資質が低い日本

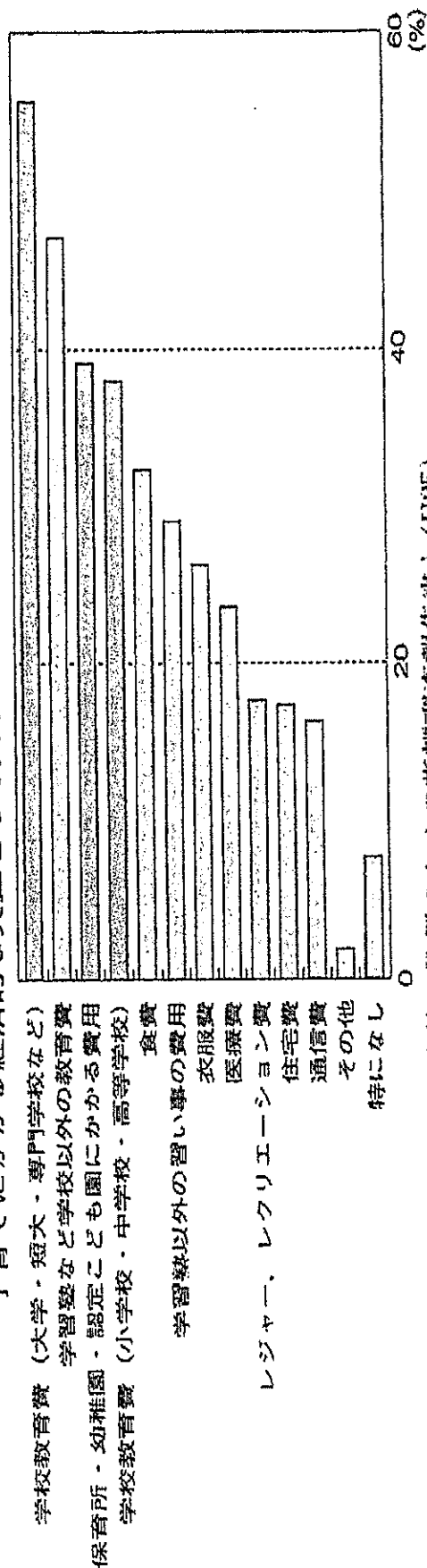
理想の子供数を持たない理由・子育てに係る経済的な負担

理想の子供数を持たない理由

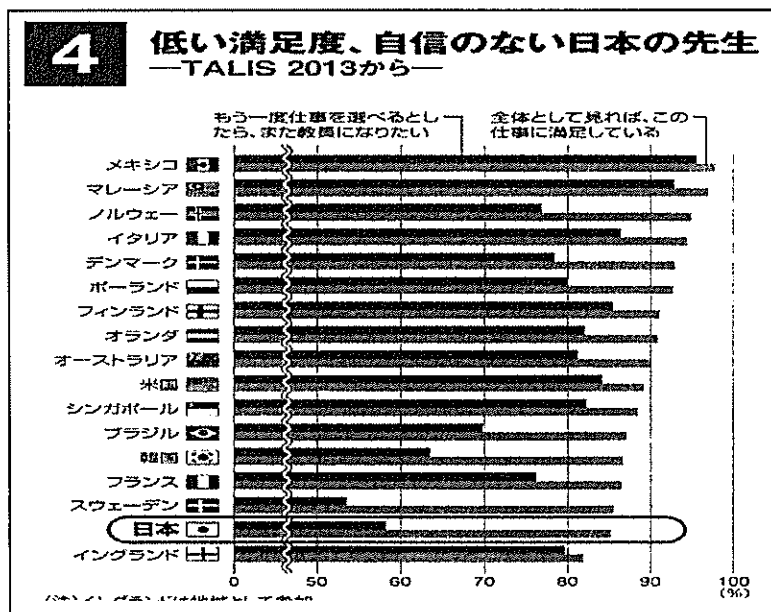
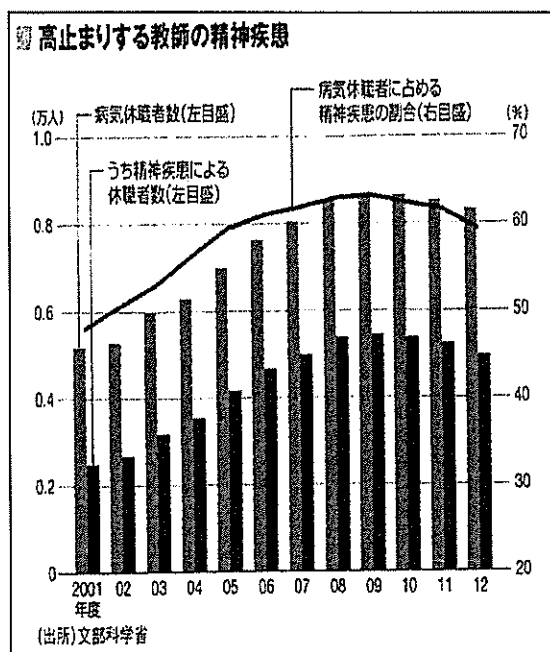
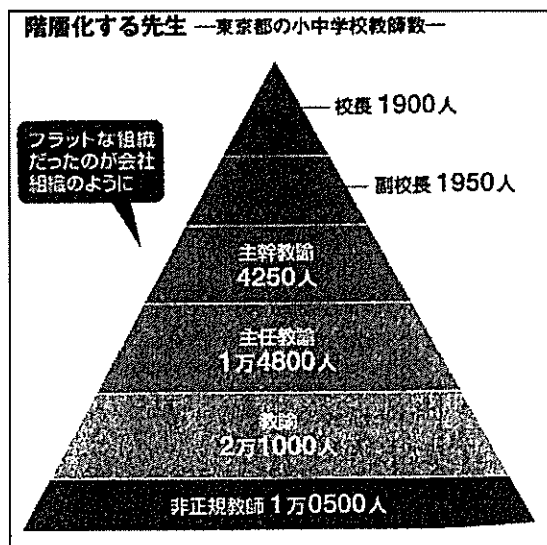
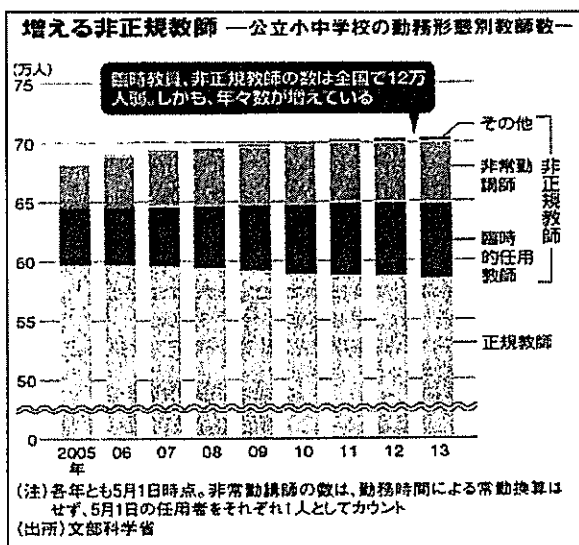


(出典) 国立社会保険・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査」(2010)

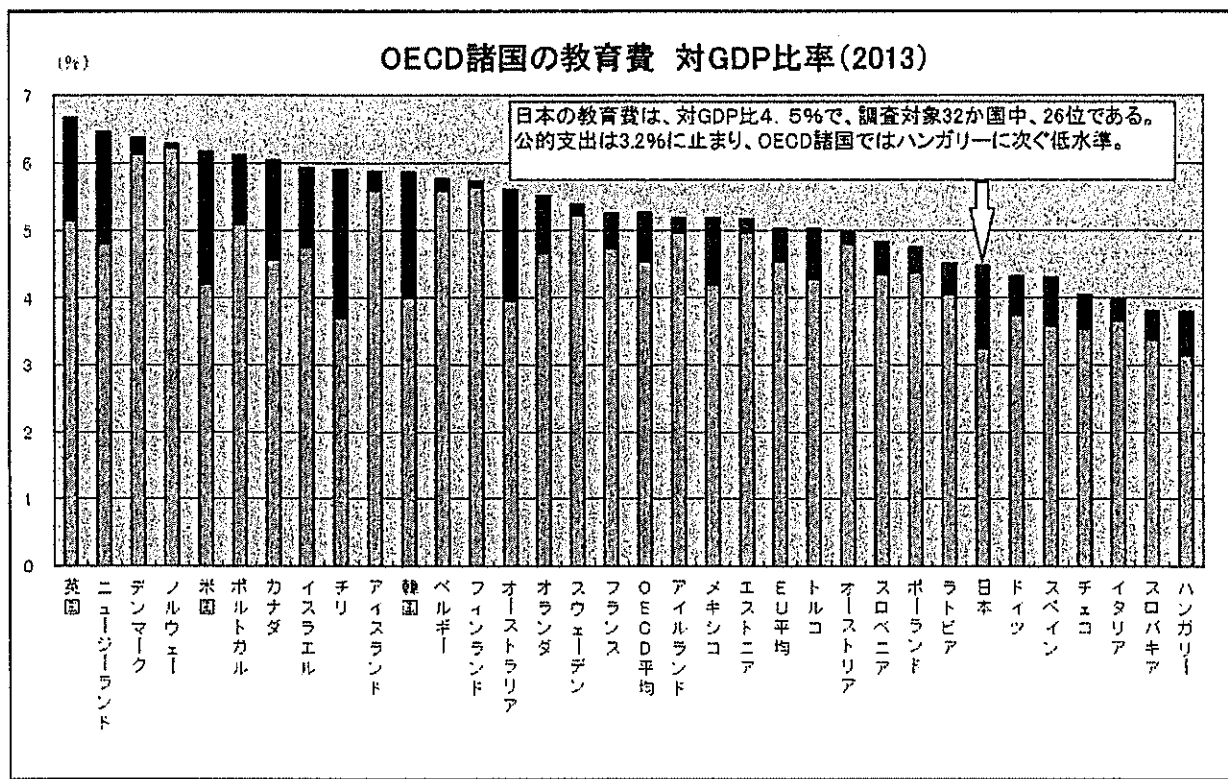
子育てにかかる経済的な負担として大きいと思われるもの



(出典) 内閣府「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査報告書」(H25)



38	教育費の対 GDP 比率 (2013)	日本は 32 カ国中 26 位	OECD 図表で見る教育 (2016) 上位 3 カ国: 英国、ニュージーランド、デンマーク
----	------------------------	--------------------	---

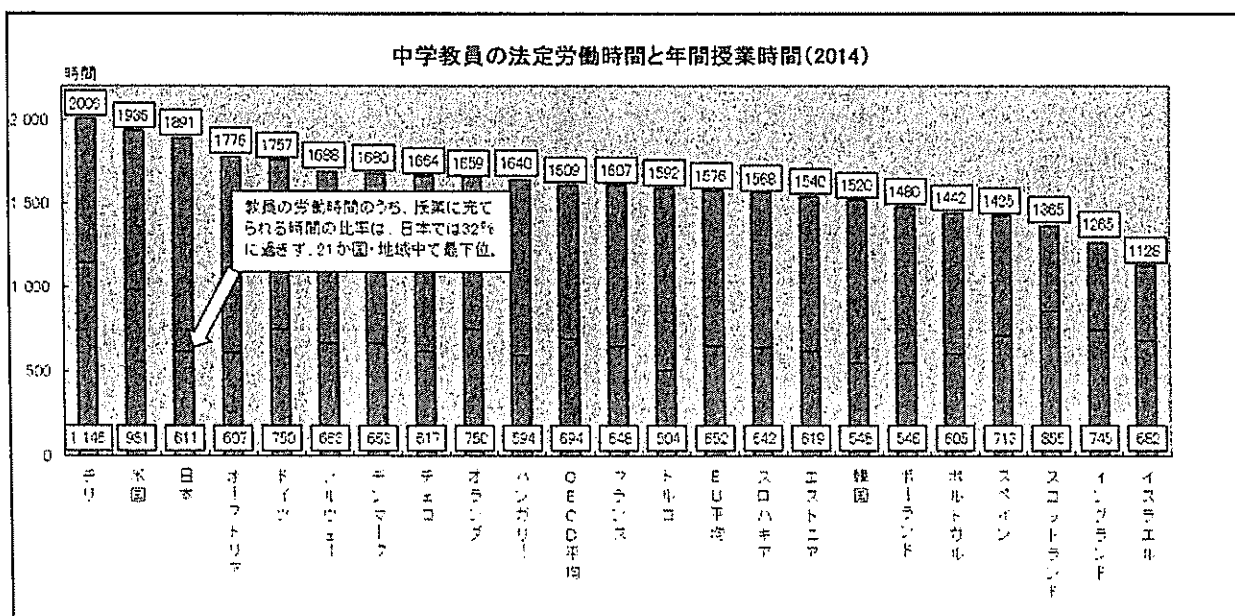
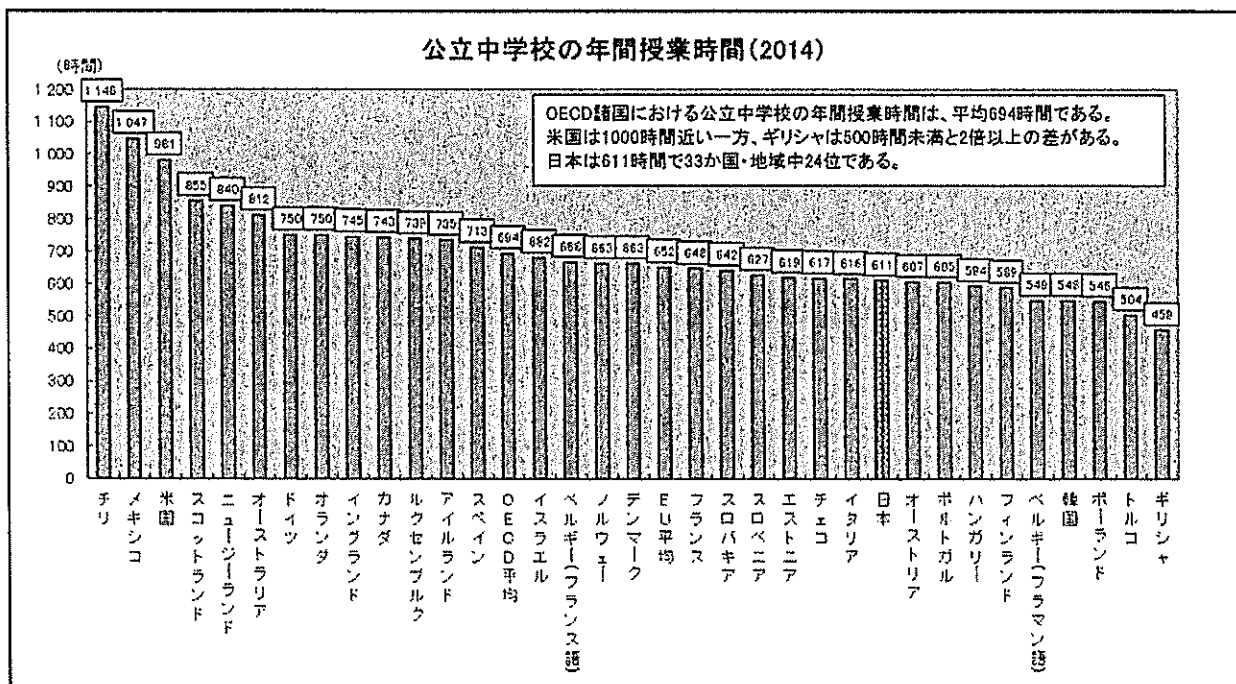


	国名	公的支出	私的負担	合計		国名	公的支出	私的負担	合計
1	英国	5.2	1.5	6.7	17	OECD 平均	4.5	0.7	5.2
2	ニュージーランド	4.8	1.7	6.5	18	アイルランド	5.0	0.2	5.2
3	デンマーク	6.1	0.2	6.4	19	メキシコ	4.2	1.0	5.2
4	ノルウェー	6.2	0.1	6.3	20	エストニア	5.0	0.2	5.2
5	米国	4.2	2.0	6.2	21	EU 平均	4.5	0.5	5.0
6	ポルトガル	5.1	1.0	6.1	22	トルコ	4.3	0.7	5.0
7	カナダ	4.6	1.5	6.1	23	オーストリア	4.8	0.2	5.0
8	イスラエル	4.8	1.2	5.9	24	スロベニア	4.4	0.5	4.8
9	チリ	3.7	2.2	5.9	25	ポーランド	4.4	0.4	4.8
10	アイスランド	5.6	0.3	5.9	26	ラトビア	4.0	0.5	4.5
11	韓国	4.0	1.9	5.9	27	日本	3.2	1.2	4.5
12	ベルギー	5.6	0.2	5.8	28	ドイツ	3.7	0.6	4.3
13	フィンランド	5.6	0.1	5.7	29	スペイン	3.6	0.7	4.3
14	オーストラリア	3.9	1.7	5.6	30	チェコ	3.5	0.5	4.0
15	オランダ	4.7	0.9	5.5	31	イタリア	3.7	0.3	4.0
16	スウェーデン	5.2	0.2	5.4	32	スロバキア	3.4	0.4	3.8
16	フランス	4.7	0.5	5.3	32	ハンガリー	3.1	0.7	3.8

39 ①	公立中学校の年間授業時間(2014)	日本は33カ国中 24位	OECD図表で見る教育(2016) 上位3カ国:米国(1080時間)、メキシコ、ニュージーランド 下位3カ国:韓国、ハンガリー、ギリシャ
---------	--------------------	-----------------	--

OECD諸国の公立中学校の年間授業時間は平均で 694 時間である。日本は、2005 年には 505 時間で 31 か国中最下位であったが、2014 年は 611 時間で 33 か国・地域中 24 位である。

日本は、授業時間は短い一方で、教員の年間法定労働時間は最も長く、労働時間のうち授業に割く比率が最も低くなっている。



8. 中学校教諭の勤務状況

		平均	日本
1 週間当たりの教員の勤務時間		38.3 時間	53.9 時間 (34 カ国中、最長)
	部活動などの課外活動指導	2.1 時間	7.7 時間 (平均の 3 倍超)
	書類作成などの事務作業	2.9 時間	5.5 時間 (平均のほぼ 2 倍)
	授業時間	19.3 時間	17.7 時間 (平均より短い)

もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい (%)		教職は社会的に高く評価されていると思う (%)	
メキシコ	95.5	マレーシア	83.8
マレーシア	92.8	シンガポール	67.6
フィンランド	85.3	韓国	66.5
シンガポール	82.1	フィンランド	58.6
イングランド(英国)	79.5	メキシコ	49.5
フランス	76.1	イングランド(英国)	35.4
ブラジル	69.7	日本	28.1
韓国	63.4	ブラジル	12.6
日本	58.1	スウェーデン	5.0
スウェーデン	53.4	フランス	1.9
参加国平均	77.6	参加国平均	30.9

「勉強にあまり関心を示さない生徒に動機付けをしている」と答えた先生の割合 (%)

1 位 マレーシア	95.2
2 位 アブダビ (アラブ首長国連邦)	94.9
3 位 ポルトガル	93.8
4 位 ルーマニア	88.7
5 位 ブラジル	87.6
⋮	⋮
33 位 日本 (最下位)	21.9
回答率が基準に達しなかった米国を除く	

OECD 国際教員指導環境調査

学校の学習環境と教員の勤務環境を国際的に調べ、教育政策に役立てることを目的にした調査。2008 年に続き今回が 2 回目。今回は OECD 加盟国を中心に 34 カ国・地域が参加した。1 カ国・地域当たり中学校約 200 校を無作為に抽出し、各校から教員・校長約 20 人が、勤務状況や学級の環境への満足感といった内容の質問紙に 1 時間程度かけて回答した。